

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 専門学校岡山情報ビジネス学院		設置認可年月日 昭和61年7月26日		校長名 学院長 三村 光		所在地 〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336																																	
設置者名 学校法人 三友学園		設立認可年月日 昭和61年7月26日		代表者名 理事長 池田 基熙		所在地 〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336																																	
分野 工業		認定課程名 工業専門課程		認定学科名 ネット・動画クリエイター学科		専門士認定年度 平成14(2002)年度		高度専門士認定年度 -		職業実践専門課程認定年度 平成28(2016)年度																													
学科の目的		ホームページ制作の基礎から応用、動画制作の領域まで、ネットビジネスを支えるスキルや知識を幅広く修得。実践的なカリキュラムで、現場の即戦力としてWeb業界で活躍できる人材を育成する。																																					
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		【取得可能な資格】Illustrator®クリエイター能力認定試験 Photoshop®クリエイター能力認定試験 色彩検定 Webデザイナー検定 他 【中退率】11% 退学者9名(令和5年度) 入学者含む期初在籍者数83名 卒業生含む期末在籍者数74名)																																					
修業年限 2年		昼夜 昼間		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 ※単位時間、単位いずれかに記入 1,850 単位時間 単位		講義 245 単位時間 単位		演習 943 単位時間 単位		実習 1,027 単位時間 単位		実験 0 単位時間 単位		実技 0 単位時間 単位																									
生徒総定員 60人		生徒実員(A) 74人		留学生数(生徒実員の内数)(B) 0人		留学生割合(B/A) 0%																																	
就職等の状況		■卒業者数(C) : 36人 ■就職希望者数(D) : 30人 ■就職者数(E) : 29人 ■地元就職者数(F) : 16人 ■就職率(E/D) : 97% ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 55% ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 81% ■進学者数 : 0人 ■その他 : アルバイト就職Youtube事業 (令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 【業界】Web業界、デザイン業界、動画制作 【就職先】(株)内外プロセス、(株)ニックスラボ、(株)ブライトイン、(有)バサラ、(株)テレビアルファ、(株)みつ印刷 他 ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 一般社団法人専門職高等教育 育質保証機構 受審年月: 平成31年2月 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf																																					
第三者による学校評価		評価団体: 一般社団法人専門職高等教育 育質保証機構 受審年月: 平成31年2月 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf																																					
当該学科のホームページURL		https://www.oic-ok.ac.jp/																																					
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		(A: 単位時間による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,215 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>150 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,850 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>150 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>80 単位時間</td></tr> </table> (B: 単位数による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>										総授業時数	2,215 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	150 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	1,850 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	150 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	80 単位時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位
総授業時数	2,215 単位時間																																						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	150 単位時間																																						
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																						
うち必修授業時数	1,850 単位時間																																						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	150 単位時間																																						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	80 単位時間																																						
総授業時数	単位																																						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																						
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																						
うち必修授業時数	単位																																						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																						
教員の属性(専任教員について記入)		<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>2人</td> </tr> </table>										① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	3人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	2人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2人																																						
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人																																						
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																						
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																						
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																						
計	3人																																						
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	2人																																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

顧客のニーズを満足するWebサイトの制作ができる技術力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディレクション能力を備えた実践的なWebデザイナーを育成するため、最新のWeb マーケティング手法やサイト設計方法・最新デバイスの動向、映像広告に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、その実情と求められるスキル等について意見や提案をいただき、カリキュラムの追加や内容更新、教材作成・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

実践的なWeb サイトを制作するために、コミュニケーションをとることができ、自ら学び、成長していける人材を育成するために、Web関連企業及び、岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受け、カリキュラム等の改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
後藤 誠	岡山WEBクリエイターズ 代表	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	③
ムラカミ ヨシコ	アッパービレッジ株式会社 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	③
中上 篤	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務課長補佐(ITクリエイター学科群)	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月4日 16:00～18:00

第2回 令和6年1月24日 15:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業連携授業の内容が、動画中心になっている。Web系の内容も実施する必要性があるのでは無いかとご指摘がありました。そこに向けて、次年度より「岡山Webクリエイターズ」と授業やセミナーなどで取り組みを実施して行く予定です。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

Web上での効果的な広告媒体として、動画広告に注目が集まっている今、それらに対応すべく即戦力となる人材を育成するため、実際に動画広告を提供していただける企業を選定し、現場で施設運営として実務に就かれている方から、動画広告案件のヒアリングから制作助言、学生作品へフィードバックをいただくことができる体制をとる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目の担当教員と連携企業の講師が事前に授業内容と目的、段階的にスキルアップできる実習課題について打ち合わせを行い、スケジュールを作成する。前期は担当教員より広告計画や映像制作スキルについて、基礎的な内容の講義と実習を行い具体的な演習を行う。後期は連携企業と複数回のヒアリング会をおこない(オンライン)、動画広告制作の進捗確認やチームで仕事を進めるうえでのアドバイス・指導・改善および最終評価をいただく。連携授業内容は、施設内で上映する星座にまつわる映像コンテンツ、会場紹介コマース映像、上映前諸注意映像など、案件ごとにチームに分かれ制作を行う。制作後は、現場の方からコメントをいただき、成果確認を実施して今後の制作に活かす。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用力を身につける。	株式会社アドボックス フォトグラフィ、株式会社コーセイカン、株式会社ジールプラス
合同制作Ⅰ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	岡山県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課
合同制作Ⅱ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	岡山県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	チーム全員でUIデザイン 今日からはじめるFigma入門 2	連携企業等: Qiita株式会社、株式会社ロクナナ
期間:	令和5年 6月17日(土) 21:00 - 23:00	対象: Webクリエイター系職員
内容	WebデザインツールFigmaを用いたデザインについての、実務での活かし方およびチーム共有の方法を、実演を用いて学ぶ。	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	「志セミナー」赤磐市地域おこし協力隊 戸田洋美さん講演	連携企業等: 赤磐市地域おこし協力隊
期間:	R5年6月14日 10:00-12:00	対象: 教務課職員
内容	第一線で活躍されている方の姿勢や熱い想いに触れることで、自らの人生を切り拓く志を学ぶ。目的のために何が出来るか、周りに協力してもらうために何を伝えるか。そして、諦めない! というマイルールを決して曲げないという講演。	
研修名:	LGBTQ研修	連携企業等: 一般社団法人にじーず岡山
期間:	R6年2月22日 13:00-15:30	対象: 全職員
内容	研修をきっかけに教職員一同、性的マイノリティ(LGBTQ)に関する知識を身につけ、正しい理解を得る。当事者の学生から相談を受けた際の適切な対応を可能とすることを旨とする。	
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	未定 ※調整中	連携企業等: 岡山WEBクリエイターズ
期間:	R6年6月	対象: Webクリエイター系職員
内容	未定	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	「志セミナー」株式会社ミアーズ 代表取締役 前村美樹さん講演	連携企業等: 株式会社ミアーズ
期間:	R6年6月13日 9:30-10:30	対象: 教務課職員
内容	業界をリードする経営者を講師に迎え、自身の経験を踏まえながら、「変化する時代に生き抜く力を身に付ける方法」「自身の力でキャリアをデザインする生き方」について講演いただく。自分自身の人生や社会課題の解決について考える機会とし、一人ひとりのやる気と行動の原点につなげていく。	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
守井 照久	税理士法人創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 VX事業部 開発部 部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生 企業等 委員
石崎 公生	株式会社アドボックスフォトグラフィ 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	PTA
山本 涉	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル 運営企画室 室長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
北牧 涼輔	NAYUG合同会社 代表	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
浦谷 友章	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
畑 嘉昭	株式会社トスコ 専務取締役	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等 委員
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等 委員
平野 彰一	社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等 委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/assets/document/about/info/02--new.pdf>
公表時期: 2024/10/1

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2)各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラ
(3)教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7)学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	なし
(11)その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://oic-ok.ac.jp/>

公表時期: 2024/6/1

授業科目等の概要

工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科																
1	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ビジネス実務 I	就職活動のプロセスの理解を深め、具体的な行動を起こせるよう自主性を身につける。	1前期	29	1	○			○	○			
2	○			Illustrator 演習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード)	1前期	53	3	△	○		○	○			
3	○			Photoshop 演習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード)	1前期	43	2	△	○		○	○			
4	○			色彩概論	デザインにおける色彩の知識を習得する。(色彩検定3級)	1前期	52	3	○			○	○			
5	○			カメラ実習	デザインのクオリティをアップさせる要素として重要な写真撮影の機能や技術を修得する。写真撮影から動画撮影へ領域を広げ、カメラによる総合的な表現手法を修得する。	1前期	46	1		△	○	○			○	
6	○			Web デザイン 概論	Webデザインの基礎知識やアニメーションからCSSの技術までを学習しWebデザイナー検定の取得を行う。	1前期	28	1	○			○	○			
7	○			デザイン実習	デザインの基礎知識を学び、規定や仕様を理解する。デザインがどのような視点で出来ているのか、実例を用いて解説し制作に向けての学習をする。	1前期	41	1		○	△	○	○			
8	○			HTML・CSS実習	マークアップの基本を習得し、ホームページの制作の手法を学習する。	1前期	40	1		△	○	○	○			
9	○			Web デザイン 実習基礎 I	Webデザイン制作の基礎を学びお客様の想いをカタチにできるよう学習する。	1前期	39	1			○	○	○			
10	○			ビジネス実務 II	基本的なビジネスマナーについて社会人常識力検定を通じて習得する。	1後期	57	3	○			○	○			
11	○			Illustrator 演習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識習得、また応用分野へ活用する。(Illustratorクリエイター能力認定試験 エキスパート)	1後期	57	1		○	△	○	○			
12	○			Photoshop 演習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識習得、また応用分野へ活用する。(Photoshopクリエイター能力認定試験 エキスパート)	1後期	56	2		○	△	○	○			

工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
13	○			Web マーケティング	マーケティング手法の基本知識を学び、演習へ活用する。	1 後期	28	1	△	○		○			○	
14	○			Webデザイン 実習基礎Ⅱ	Webデザイン制作の基礎を学びお客様の想いをカタチにできるよう学習する。	1 後期	44	2			○	○		○		
15		○		HTML制作実習 Ⅰ	マークアップの基本を習得する。(Webクリエイター能力認定試験：エキスパート)	1 後期	75	2		△	○	○		○		
16		○		動画制作実習 基礎	動画の制作実習を通して自身の表現手段を増やす力を習得する。(文字、イラスト、写真 + 実写動画、3DCG動画)	1 後期	75	2		△	○	○			○	
17	○			情報アーキテクチャ	情報を整理・視覚化し、新たな発想を生み出すための手法について学ぶ。	1 後期	28	1	△	○		○		○		
18	○			グラフィック デザインⅠ	地図、サイン、グラフなど、さまざまな媒体のデザインを学ぶ。	1 後期	30	1		△	○	○		○		
19	○			ブランディング 演習	実務で必須となるクライアントの要望を詳しく聞き出し、課題を解決する提案力とわかりやすく説明するプレゼンテーションスキルを、実現するための実践力を身につける。	1 後期	58	3		○	△	○		○		
20	○			キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用力を身につける。	1 後期	80	2			○	○		○		○
21	○			合同制作Ⅰ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	1 後期	35	1			○	○		○		○
22	○			ペン字	履歴書やビジネス文書等で書く文字バランスを身につける。	1 後期	15	1	△	○		○			○	
23	○			ビジネス実務 Ⅲ	実社会で求められる挨拶や立ち居振る舞い等を実践も踏まえて習得する。	2 前期	18	1	○			○		○		
24	○			ビジネスアプリケーション	企業で利用されているビジネスアプリケーション、Excelの知識・技能を習得する。	2 前期	38	1		○	△	○		○		

工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			Webデザイン実習応用Ⅰ	UI設計からビジュアルデザイン、構築までを行う実制作を繰り返し、総合的なサイト制作の力を身につける。	2前期	48	1	△	○	○	○				
	○			グラフィックデザインⅡ	企業ロゴを制作し、名刺・封筒・チラシ制作の実習を通じて、グラフィックソフトに慣れ、郵便規約を学ぶ。	2前期	73	2	△	○	○	○				
		○		HTML制作演習Ⅱ	HTMLを使用しての構造的なコーディング、CSSでの装飾だけでなく、動きのあるWebサイト制作の実装とレスポンシブ対応の習得。	2前期	80	2	○	△	○	○				
		○		動画制作実習応用	現代のWeb広告で欠かすことのできない動画広告について、実際の撮影技術実習を通じて、その仕組みを学ぶ。	2前期	80	2			○	○				○
	○			プレゼンテーション技法	アイデアを他者に伝えるための技法について、講義と体験を交えて習得する。	2前期	36	2	△	○		○			○	
	○			ライティング演習	ホームページ内や動画の中でのナレーションなど様々な場面で必要とされる短文の作成の方法を学習する	2前期	54	3	△	○		○			○	
	○			ディレクション演習	Webサイトを制作する際に、制作スタッフをまとめプロジェクト全体の進行管理・品質管理をするための技法を学ぶ。	2前期	74	2		○	△	○			○	
	○			トライアル演習	1年時より学び経験した知識・技術を応用し、クライアントからの実際のオーダーや、各種コンテストへの応募作品を制作する。	2前期	72	2	△	○		○			○	
	○			ビジネス実務Ⅳ	社会人としてすぐに働くことを想定したマナー・考え方・一般常識の習得する。	2後期	16	1	○			○			○	
	○			Webデザイン実習応用Ⅱ	UI設計からビジュアルデザイン、構築までを行う実制作を繰り返し、総合的なサイト制作の力を身につける。	2後期	60	2	△	○	○	○				○
	○			CMS演習	PHPを使用したWordPressを中心にCMSを作成、テンプレートを使用しての作成を行えるスキルを身につける。	2後期	30	1	△	○		○			○	
	○			合同制作Ⅱ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	2後期	35	1			○	○			○	○

工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
37	○		エディトリアルデザイン	クラス誌制作。カメラの授業で撮影した写真も使用し、学生に企画編集の力を身につける。	2後期	60	2		△	○	○		○		
38	○		卒業研究Ⅰ	2年間の集大成として、実社会で使われることを想定した制作物の企画立案を行う。情報収集・分析・企画と実務に近い形で制作進行体験することで、社会に出る力を養う。	2後期	111	3			○	○		○		
39	○		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅰで制作したものを掘り下げ、最終成果物としての昇華を目指す。また、併せて外部への発表も行い、研究を通じて社会へ働きかける力を身につける。	2後期	96	3			○	○		○		
40		○	ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形（行書体も含む）を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○			○	
41		○	ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付ける。	2後期	15	1	○	△		○			○	
42		○	エクセル上級	Excel2019 (Expertレベル) を活用し、実務で使える資料作成能力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
43		○	医療事務	医療保険の仕組みを理解し、簡単な医療費の計算を学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○		○		
44		○	表現	幼児期から親しんできた言語環境構成の基礎や作品製作技術を学んだり、体験したりすることを通して、自己表現やコミュニケーション力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
45		○	RPA実習	業務において、ミスをなくし効率的な業務が出来るように、作業自動化ツールを用いた自動化の初歩を学び、プログラムの思考力を養う。	2後期	15	1	△	○		○		○		
46		○	情報リテラシー	業務で役立つWindowsの便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識やAIの活用方法などについて学ぶ。	2後期	15	1	△	○		○		○		
47		○	データマーケティング	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excelを活用した分析手法についても修得する。	2後期	15	1	△	○		○		○		
48		○	ファイナンシャルプランナー	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。	2後期	15	1	○	△		○		○		

工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○		法律リテラシー	実社会で役立つ、民法・行政法等の知識を事例を交えて学ぶ。身近で起こりうる法律問題について結論の方向性が見通せるようになることを目指す。	2後期	15	1	○	△		○		○		
		○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2後期	15	1	△	○		○			○	
		○		ゲームプログラミング	ゲーム制作を通じてプログラミングを体験することで、順序立てて物事をとらえる考え方を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
		○		広告映像	会社の広報SNSなどに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
		○		ビジュアルデザイン	デザインを使い、伝えたい情報を視覚的に表現する力を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
		○		世界事情	グローバル化の時代、将来国内外問わず、外国人とともに仕事することを念頭に、テーマ別国際事情の講義とグループワークやディスカッションを通して、国際的視野を身につける。	2後期	15	1	△	○		○		○		
合計						38 科目			1850 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：①必修科目及び選択必修選択科目の成績がC評価以上		1学年の学期区分	2期
履修方法：【No. 1-22】1年次履修科目 34単位(934単位時間) 21科目		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。